

それから 宮本三郎の挑戦

宮本三郎が戦後、どのように自身の表現を確立していったのか 作品とともに考えます



2018.12.22|土| ——— 2019.3.10|日|

小松市立



宮本三郎美術館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：年末年始(12/29～1/3)

入館料：一般400(300)円、大学生200(150)円(宮本三郎ふるさと館と共通)

※高校生以下無料※()内は20名以上の団体料金※こまつミュージアム・パス対象施設

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者1名は無料

会期中のイベント 詳しい内容は小松市のHPをご覧ください

会場：宮本三郎美術館 小松市小馬出町5 / TEL：0761-20-3600

●学芸員ギャラリートーク《申込不要》1/14(月・祝)、2/17(日)いずれも14:00～

●美術館でヨガ《要申込》

宮本三郎の代表作《日本の四季》を鑑賞後、作品の前でヨガを行います。

【1回目】12/25(火) 10:00～11:15 / 申込期間：12/8(土)～20(木)

【2回目】2/5(火) 10:00～11:15 / 申込期間：1/19(土)～31(木)

講師：大田垣美菜子

参加費：400円(展示観覧料)、中学・高校生無料

対象：美術鑑賞とヨガの好きな方(中学生以上)

持ち物・服装：ヨガマット、飲み物、動きやすい服装

●アートなカレンダーを作ろう《要申込》1/27(日) 9:30～11:30

いろんな絵画技法を使って4月始まりのカレンダーを作ってみよう!

参加費：小学生無料、一般400円(展示観覧料)

申込期間：1/5(土)～20(日)

対象：小学生(3年生以下は保護者同伴) / 定員：12名

持ち物・服装：飲み物、汚れてもよい服装



上《歡喜》1965年、下《浴女》1969年 個人蔵

次回企画展案内：企画展「色の記憶」2019/3/23(土)～6/16(日)

宮本三郎ふるさと館 企画展

宮本三郎の アトリエ によろこそ!

2018 12.22(土) → 2019 3.10(日)

宮本三郎が使用した家具や花器、衣服などを作品と併せてご紹介します



上《横臥裸婦》1967年頃、下《百合・ミモザ》1967-71年頃



小松市立

宮本三郎ふるさと館

開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/29～1/3)

入館料：一般400(300)円、大学生200(150)円(宮本三郎美術館と共通)※高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金※こまつミュージアム・パス対象施設

※障がい者手帳等お持ちの方と介助者1名は無料

会期中のイベント 詳しい内容は小松市のHPをご覧ください

会場：宮本三郎ふるさと館 小松市松崎町16-1 / TEL：0761-43-3032

●親子凧作り教室《要申込》2/2(土) 10:00～15:00

参加費：凧一つにつき500円

申込期間：1/12(土)～27(日) / 定員：小学生親子15組(先着順)

持ち物：画材(マジック・水彩絵の具など)、ハサミ、飲み物 ※昼食に、おもちとトン汁が出ます

服装：汚れてもよい温かい服装(長靴)

●クラシックピアノコンサート《申込不要》3/10(日)14:00～15:00

参加費：コンサート中は入館無料 / 定員：50名 / 出演：伊藤裕子

次回企画展案内：企画展「粧い—宮本三郎の美の視点」2019/3/23(土)～6/16(日)

